

西川弘修の眼 古物展

二〇一六年二月二十日(土)～二十九日(月) 会期中無休



料金後納
ゆうメール

にしかわ ひろのぶ
西川弘修の眼
こぶつ
古物展

二〇一六年二月二十日(土) 会期中無休 (※28日は、川越成田山にて蚤の市が開催されます)
 営業時間 十一時～十八時
 在廊日 二月二十日(土)・二十一日(日)・二十八日(日)

じこんか
 「而今禾」のオーナー・西川弘修さんは2000年に三重県関市にお店をオープンしました。器、衣服、食など暮らしを豊かにする生活用品を早くから紹介し、今は東京や台北にもお店を構えています。そこでは単にものを販売するだけでなく、天然素材に拘った食事や暮らしの中で楽しむ花など、生活自体の在り方を提案し続けてきました。また開店当初から今の暮らしの中で活かせる実用的な古道具も扱ってきました。

本展は而今禾で扱う古物をベースにしながらかも、普段の活動を少し離れ、西川弘修さん個人として選んだ物に焦点を合わせた企画になります。西川さんの取り上げる古物は飾らぬ佇まいのものが多くですが、一方で骨太で芯のある壺など力強さも魅力的なのです。以前より「物の存在感」を見抜く眼の良さに惚れ込み、それらをまとめて見る機会を設けたく思い、この企画に至りました。

今回は、日本の土器、中世の壺、朝鮮・中国・東南アジア・欧州・アフリカなど地域を超えた古陶磁、そして小家具・什器・飾り板など、西川さんの眼を通して選ばれた品々が並びます。それらは観念的な思いを超えて、ストレートに心の奥から物欲が沸き起こるのです。多くの方に見て頂きたい反面、西川さんのいち古物ファンとして、どうぞ会期を平静に過ごせるか複雑な思いもある展示会になりそうです。どうぞ皆様も「西川弘修の眼」をご自身でお確かめ下さい。店主

プロフィール

- 1973年 大阪生まれ
- 1992年～96年 沖縄・北海道、アメリカを周りアイヌ民族やネイティブアメリカンと過ごす
- 1998年 三重県松本市に而今禾の前身となるお店を開設
- 2000年 三重県関市の古い町家に「而今禾」オープン
- 2010年 東京都世田谷に「Jikonka Tokyo」オープン
- 2012年 台湾台北市に「Jikonka TAIPEI」オープン



ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
 TEL 049-298-8715
 MAIL utsuwanote@gmail.com

- 電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
 本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
- バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]
 駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]
- 車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5～8番)

